

要なものである。物理學の中
でいへば、力を媒
介する場に伴つて
粒子があるとい
う、當時の先端
的理論であつた場の
量子論の有効性を
如実に見せてくれ
た初めての仕事で
あつた。科學全体
の流れからいへば、行過ぎた実証
主義を覆ひ、科學
の方法を正しい道
に向け直す契機となつた。

素粒子国際会議を迎えて

方法論の発展に期待



早川幸男

大加速器の建設へ

やや遅れて設の準備が進められた。このほ
 この正しい方法を実行した
 のが仁科芳雄、岡田雄三、一宮謙雄、博
 士で、宇留銀中に中間手を
 発見した。こ
 設の準備が進められた。このほ
 ど、研究者の意見が一致して、
 欧米のものをしるの四百態電子
 の陽子シンクロトロンの実験が
 まどされた。これによつて一筆に
 実験の進捗をとりもたせると考へ
 ているが、また政府の決りが下さ
 っている。

このように実験を感念にして素粒子物理学の内容を豊富にするとともに、忘れてはならないことは、哲学的な面を發展させることである。現在研究の方法が固定化し、豊富な実験事実により回されていきつつある。かつて湯川

月 四

行過ぎた実証主義

十九世紀前半の哲学の主流に対する反動もあつて、近代科学の旗印として生証主義が掲げられた。それはそれなりの意義があり、近代科学を進めるのに役立つたが、それが行過ぎて原子論の新しい動

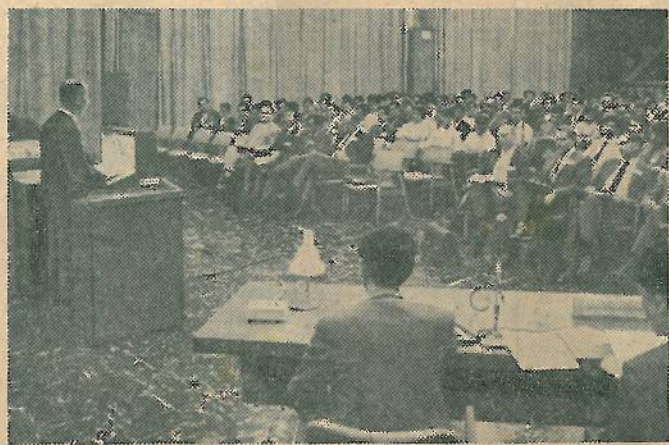
湯川理論の偉大さ

三男博士が明らかにしたように、原子論を發展させた人の多くは、それを余り自覺せず、皮相な義理主義の迷路にはまりこむことが多かった。そのため陽電子を見出したディラック博士の電子論、ベータ崩壊に見られた不忠誠を救うパウリ博士のニュートリノ仮説は、はなはだしき過言された。これらは「存在しない」ものに基く理論と見えて、右のよき科学的意義に加え、溷理論は日本の学界に大きな影響を与えた。それ以前の日本の物理学は、研究というより知識の集積と整理が主で、今日の意味での研究は少なかった。その時代、世界に流湯川理論が出たことは、日本の研究者にとって大きな刺激になった。そして一群の理論物理学者が育ち、溷川理論を發展

「素粒子シンポジウム」開く

深遠、未知の分野

まず湯川博士があいさつ



二十四日から理論物理学の世界をはじめ、国際会議の主役湯川秀樹のトップレベルを集めて開かれる湯川秀樹生誕七十周年記念「素粒子国際会議」を前に二十一日朝か

はじめる。国際会議の主役湯川秀樹の同所長ら全国の学者約三百人が出席、午前九時十分、湯川博士のあいさつで幕をあげた。

開会のあいさつをする湯川博士の「素粒子の複合模型」からシンボリックにはいった。

京都府知事の公邸で、京大基礎物
理学研究所主幹「素粒子シンボ
ウム」がはじまった。

拍手に迎えられてたった湯川博
士は「物理学」なかも素粒子の
分野ははかり知れない深さを持
っている。このシンボウムが素粒
子論の将来によりよい展望を与
えるよう期待したい」とあいさつ
する学会の幹事にふさわしい国際
的な雰囲気を感じ上げた。

シンボウムは開会のあいさつ
をはじめ、三日間十四題の発表、
討論もすべて英語。正面に用意さ
れた黒板にたちまち数式でいっ

c073-001-028